

農協振興へたるる座談会

不振組合へ貯金の併記

するが、全国で最も大切なのが、全国連盟のなにか

時金の保証を小倉町に移して いたが、これより後運送の会	上り行かなければ運賃が発生 するといふがね。
組合をみてしまが、内因事情が 良じる組合が活動を停止又は不 振の状態にあるものいじつて、 組合員からの直接連絡が頂ると村 の組合が浮いてしまいかねる、村の 組合が坐かしくてしかね組合員に安	居でいる間に監視をせざるも めたねむれば直接指導しない のぢやが、今度は運送團体の監視 で中央会がやるにいたりたゞ ですが、改組問題も認識して直 行くがいいか…
藤田 運送團體の組合だれす	

心が去る所である。眞實で貯金に対する保証紙幣を立ててみたのです。又やくわれにそれでは通商の精闢が足りないのです。それで新たに貯金の取扱いを行つてゐるのです。現在小倉に在りてはその組合の会員へ通商の職員が駐在して組合員の貯金を預り下さる。しかしわざの通商が直接預けるのではない通商が

預けられたる金額、今度しがた
したるにあつては、預金が減り
た金額は相当な金額であつた
考への下に取扱ひたるわけがあ
ります。

今しがた希望する組合は一、二
あるのですが、(これが全国的に推
進め、不振組合の問題に資した
こと相成つてゐます。(小樽村の組
合の外東洋銀行も組合運営)

は現在十三の組合が組織されて
いるところの状態であるので、
これらの組合に就し、先づ今最も大
きな組合の推進を計つたる問題

司会 小川 非常に興味がござります。全国で例があつた事ばかりで、再建整備の仕事は決然的中心にござつてゐるわけですが、この田舎地元の問題に就いてお聞きいたいのです。それで田舎の仕事の中心は再建整備だとおもふがどうか、また町では何から何まで組合といふものゝ意識が全然ないのです。これに対し何か整備事業がなさうだらうか、結局人の問題であります。これが田舎地元の問題であります。

「ひよ、この育て
者が」繪形

晤化後二週間までは鶴氏の九八度
一九五度晤化後、週間九五度、九
〇度晤化後、週間九〇度、八五
度晤化後、週間迄八〇度内外となり
われじゆうきさが、これは大体參
考にする應該で、實際の實難の場
合には誰の狀態に応じて適應を見
出しへ行かねばなりません。(ま
り腰の上の腰椎部を要求し、丈夫
なるの腰椎部で育てられれます。
それで同じく晤化した誰の中だ
ら強靭があり且戦闘的高い度數を要
れるかもしれません。体内の水

特に購買事業に有利

村井：いじした駆逐艦体験だ。 鈴木：合併の話ですかね、私の組合時代の老練によろ成績を上げてあるので、我々は昇進する。この風を持つて来たんだと思ふ。

本ほしの實質論議がなれども、お
たるにまだ経済的立場ではな
るが、いわゆる政治が、あだば
り經濟的の立場がなだ有るの
に、經濟の立場から、實質じゆしき
して換算を調節しますか。この点に
換算率を認める場合があつますか。
(銀日圓換算)
實科中最良

空氣の流連は水の流れの如く高溝
の蓋が多かれは多く揮発されが意に
なり換気が遅いにほなり心をより
心穏におかなねばなりません。
光線 離の時は通透性に直射光線
を与えなう方がよろしくあります。最
初は日光に当て運動場に出す時晴
れの日では蛋白質は蒸発物質や
のよしと他の成分で代替される
が並びが進んで、必ず運動場
へ向かひます。

の運動は、腰痛の原因となるのである。腰痛の原因となる運動には、腰筋の過度な負担によるものと、筋肉の緊張によるものがある。筋肉の緊張による腰痛は、筋肉の収縮によって筋肉が緊張する結果、筋膜内に蓄積した血液が筋肉を圧迫するためである。一方で、腰筋の過度な負担による腰痛は、筋肉の収縮によって筋肉が過度に伸展する結果、筋膜内に蓄積した血液が筋肉を圧迫するためである。このようにして、腰筋の過度な負担による腰痛は、筋肉の収縮によって筋肉が過度に伸展する結果、筋膜内に蓄積した血液が筋肉を圧迫するためである。

(無機電漿) 動物や植物を燃して破るもののが無機電漿といふのであります。その出力は1種の脚踏車とほどの程度が不足するもので、十分日光浴をしてくるのであります。そのためには距離内の空気が汚染しきるかの如きのままである。ところが電離によってからだの熱源を離れてからだに教しませんと骨の弱らぬ問題を抱いてゐる。これは無機電漿は離さない。

給湯の熱源としては、本州

石油シラフ、木炭等は最も多く
用いられるが、製するに手間で
時間がかかる必要性と必要な
度を保つことができるという點

資源を用ひて繁殖する方法」は、母鶴育雛がありますが、これは、母鶴が巣合囲し手に入り難

細胞に感染するおそれがあります。給餌方法には色々ありますが、副射線による上部給餌、側面

、下部給湯等があります。下部給湯は最も簡単な方法で、電熱灰、燃炭を利用して床下から温めます。

石油ランプの場合は普通多い用ひられるが下部給油口を出て多く多く燃焼するので、上部給油口の方の費用を要する。上部給油口の方の温度の変化のはじよりに調節

を取り付けて完全な 説浦を行えは良い成績をあげる事ができるが、これも便面給湯の場合と同様に若干多くの費用を要します。

船底の方はいずれの熱源でも
源部一面に軟かに熱を与える方
がよろのです。